

2021年12月度のトピックス

12月25日

一貫中学生が高校の練習に参加



中学野球部の3年生や外部で野球をやり、高校進学後に硬式野球部を希望する数名が、冬休みのスタートとなった23日から練習に参加している。付属中学野球部コーチはOBが務めており、スナップスローなど基本は最も出来ている。

理想は多くの一貫メンバーがベンチ入りし、活躍してくれることだが、夏のレギュラーにフル出場した部員は中学野球部で一人、外部野球で一人と現実には厳しい。圧倒的な練習量と、チーム内競争、また学業との狭間で、退部者が多いのもまた一貫出身。西田部長は「安易な気持ちで入部するのではなく、これぐらいの練習は当たり前なんだという意識を持ってきて欲しい」と語る。

12月12日

アメリカンフットボール部の決勝戦を応援



アメリカンフットボール部が今年も躍進し、西日本大会決勝戦を宿敵・関学と戦うことになり、この日の硬式野球部は練習を朝7時半から集中して短時間で切り上げ、全員で応援に向かった。

貸し切りバス2台で吹田のEXPO FLASH FIELDで行われた一戦は、コロナ禍で大声は出せないものの、春に完封されたライバルに10-0とリベンジ勝利。里井監督も「硬式野球部員の刺激となれば」とスタンドから熱い視線を送った。

12月11日

自らを知る、ASICS測定を今年も実施



立命館と業務提携するASICSの協力で、今年も半日かかりで測定が行われた。自分の身体を知り、野球選手としての能力を数値として確認、この冬に向けた課題を明確にするのが狙いである。

68名の部員がいるため、5つのグループに分けて、スタッフの指示で効率よく測定していただいたが、それでも3時間半を要した。詳細な数値は後日、各部員に示される。冬に鍛える明確な目標を目の当たりにすることになる。

2021年11月度のトピックス

11月21日

LEGA決勝戦に快勝し、初参加で初優勝



今秋から初の試みとして、LEGA Agresivaに参加し、予選リーグを経て、順位決定トーナメントが行われていたが、本日、大阪学芸高校グラウンドで決勝戦が行われた。期末テスト直近のため、メンバーを厳選して参加したが、関西大倉相手に6-0で快勝し、優勝した。

主に試合経験の少ないメンバーと大学で野球を続ける3年生で参加したが、決勝戦後に行われた閉会式では最優秀選手に橋本晃(2年)、首位打者・最優秀長打率に野寺快が選ばれた。

11月14日

「春」への躍進を期待して、今シーズン最終戦



コロナ禍で2学期期末テストの日程が早くなったため、この週末の練習試合が今シーズンの最終戦となった。愛知県と府内の2校を招いての変則ダブルに連勝したが、課題もたくさん露呈した。

テストが終われば2月一杯まではアウトオブシーズンとなるが、スタッフは秋季大会以降の練習試合から「例年より春の到来が楽しみな素材が出てきた」と明るい展望を持つ。特に下級生投手陣に好材料が多く、しっかりと食べて、トレーニングし、飛躍を期待したい。

11月14日

「500歳野球」オールスターに2名出場



14日、わかさスタジアムで京都野球祭が行われ、立命館宇治OBクラブから、池本龍博氏と堀田常夫氏の2名が500歳野球オールスターに7代表選出され、出場した。

A.B2チームに分かれた試合では、立命館宇治OBクラブの2名はBチーム選手として、池本龍博氏が投手で1イニングを三者凡退で退け、堀田氏は途中出場ながら2打席1死球1三振であった。

応援には湯川代表が駆けつけ、二人の活躍をスタンドから見守った。

※写真提供=湯川素哉代表

11月8日

OB4名が附属中学野球部コーチに



立命館宇治中学野球部のコーチに4名のOBが足を運んでいる。以前からコーチをしていた田中優寿OB(3回生)に加え、新たに岩見俊哉OB、池田昂平OB、高廣英生OB(4回生)で、全員附属中学野球部出身で、高校硬式野球部を経て、大学では軟式野球部で活躍した。

附属中学野球部出身で高校でも頑張ったOBはすでに数十名にも及ぶが、高校スタッフも「もっと中高のパイプを強くしたい」という願いを持っていた。4回生の3人は就職も内定し、時間の許す限り、中学の練習に参加し、立命館宇治スピリットを注入している。

※写真は右は池田OB、左は高廣OB

11月7日

選抜初出場時の貝塚茂夫元監督が観戦



選抜初出場時の元監督・貝塚茂夫氏が三室戸グラウンドで野球観戦した。北大津高校コーチ～阪南大学監督～相生学院監督を歴任し、現在は滋賀県のルネス甲賀専門学校の野球部監督である。2学年80名の部員を率いて、社会人野球大会にシュツ乗しており、今回の観戦は練習試合の相手チームのリクルート。

石川とは10数年ぶりの再会で、当時のOBOGのその後には敏感で、「卒部生が懐かしいと喜ぶので」と写真撮影にも快く応じてくれた。

硬式野球部 TOP PAGE^

2021年10月度のトピックス

10月30日

AB両チームで中京大中京の胸を借りる



この日はAB2チームに分かれて中京大中京に胸を借りた。Aチームはアウェイで中京大中京へ。Bチームはホーム三室戸で2試合行った。「このままでは夏はない」とスタッフは秋以降、新たな戦力発掘やコンバートに積極的。秋のレギュラーも安心してられない。

先週の近大付属に続き、A戦の第1試合は投打のリズムがかみ合った。春に向けて楽しみな材料が増えるよう、残り数試合を全力で戦う。

10月30日

500歳野球、OBクラブが快進撃ベスト8



チーム結成半年で500歳野球春季大会に初参加し、初戦でコールド大敗した立命館宇治OBクラブが、秋季大会で快進撃を見せている。初戦は2ヶ月前に1-5で敗れた伏見工クラブを10-1で下すと、この日は創部初試合で0-10と完敗した嵯峨野クラブを10-3と連続コールドで破り、ベスト8へ進出した。2試合とも大量得点が目立つが、その根幹にあるのは投手を中心としたディフェンス。

次は11月6日にベスト4進出を賭けて、京三中山城クラブと対戦する。

10月24日

対外試合が本格的再開、週末9試合




夏休み中盤に練習試合を行って以降、公式戦を除いてなかなか対外試合が出来ない状態が続いていたが、緊急事態宣言が解除されたこともあり、様々な制限が緩和されつつある。この週末からは練習試合が本格的に再開となった。

部員が68名となるため、従来のAB2チーム編成では全ての部員にチャンスを与えることは困難で、スタッフ・顧問が総出で、Cも加え、3チーム体制とし、この土日計9試合を行うことが出来た。今年度は学園祭を12月に実査するため、期末テスト日程が前倒しとなった。例年より早く年内の試合を終える必要があり、毎週末この3チーム編成で動く。

10月8日

晩秋、新たにLIGA Agresivaに参加

	<p>秋季大会で敗れ、現在はテスト前で活動は休止中。再開は15日からであるが、例年なら、ここから期末テスト前までは練習試合と恒例の洛南交流試合となる。現在部員は2学年は68名いるが、洛南交流試合にABと2チーム参加しても、全ての部員になかなかチャンスは回らない。</p> <p>今回、初の試みして数年前から全国的な広がりを見せつつあるリーグ「LIGA Agresiva」に参加することを決めた。勝敗にこだわらない脱勝利至上主義を掲げ、「低反発バットの使用」「厳格な投手の球数制限」がある。練習試合と洛南交流試合に加え、育成を目指して大阪の公立高校と中心に数試合行う予定である。</p>
---	--

硬式野球部 [TOP PAGE](#)^

2021年9月度のトピックス

2021年度 秋季京都府高等学校野球大会 速報

9月23日

秋季大会、大一番を前にOB会が激励に



明後日に秋季大会準々決勝を控え、OB会々長・湯川氏をはじめ、役員の渡辺氏（チームトレーナー）、武吉氏、顧問の出雲氏が現役選手の激励にグラウンドを訪問して下さいました。

夏の選手権前にも激励の差し入れを頂き、今回もまた「是非とも頑張ってください」と岩間主将にスポーツドリンクが渡された。OB会は湯川新会長となり、「若い世代を中心に」と、全OBを強制加入させるのではなく、趣旨を理解し、協力して下さいる方で活性化が図られている。しばらく練習を見学した湯川会長は「みんなバットが振れているようですね。楽しみです」とグラウンドを後にされた。

9月1日

2学期スタート、放課後、日没との戦い



例年より早く夏休みが始まり、2学期も2日早いスタートとなった。コロナ禍で練習時間に制約はあるものの、放課後練習は通常授業を終えてから、三室戸へ移動しとての開始となる。どれだけ急いでもスタートは17時前。例年のことだが、夏休みには気にもかけなかった日没が早い。みるみるうちに暗くなってくる。

明るいうちにシートノック、シートバッティング、暗くなれば照明を灯してのフリー打撃となる。フリー打撃ではメンバーの中でも打てる選手を厳選し、他のメンバーは室内へ移動する。照明がある分、他校よりは恵まれているが、時間との闘いが始まった。

2021年度

秋季京都府高等学校野球大会 速報

4月9日(土) 準々決勝 対京都国際 わかさスタジアム

前半リードも後半防戦一方

● 立命館宇治	011 210 00=5
○ 京都国際	300 005 21=12x

(8回コールド)

【立】加藤、杉田、篠原-林
【京】森田、松岡、森下-辻井

▼3塁打 津脇(立) 金沢(京) ▼2塁打 岩間、星野(立)
武田、岩内、森、金沢(京)

【寸評】

初回に3点を先行された立命館宇治は、2回1死から星野が四球をで出塁すると、7番岩間が中越2塁打を放ち1点。3回には築山、北川の安打などで1死満塁のチャンスを作り、星野の犠牲フライで加点し、続く4回には先頭津脇の右中間3塁打から塚本、藪木、築山の3連打で逆転。5回にも1死1.3塁から内野ゴロで2点リードで試合を折り返した。

4回戦に続いて立ち上がりの悪さから初回に3失点した加藤は、2回以降は5回まで0行進で後半に望みを託したが、6回2失策からピンチを迎えると、右足が痙攣し、連打を浴びて5失点で逆転を許した。7回からリリーフした杉田、篠原は防戦一方で、前半のリードも空しく、コールド敗退となった。

打線は森下、平野の両輪ではなく、5回までに11安打を放ったが、2点リードで登板した森下からは1安打しか打てなかった。

地力の差を謙虚に認め、春へ向けて成長を目指すしかない。



写真は3安打を放った築山隆翔(1年)

4月9日(日) 4回戦 対西舞鶴 峰山球場

加藤、2回以降「完全」7回12奪三振

● 西 舞 鶴 100 000 0=1

○ 立命館宇治 232 200 x=9x

(7回コールド)

【西】濱田、今福-儀間

【立】加藤-林

▼本塁打 北川 (立) ▼3塁打 藪木 (立) ▼2塁打
築山、北川 (立)

【寸評】

1点を先行された立命館宇治はその裏、先頭の塚本が右前打で出塁すると、2番藪木が右越え3塁打を放ち、すぐさま追いつき、続く3番築山の右前打で逆転した。

2回には四球と林の内野安打を加藤が送り、藪木死球で得た2死満塁から、築山が走者一掃の2塁打を放ち、3点加点。3回には先頭北川が今大会2本目を左翼に放ち加点し、4回には2死2.3塁から北川が左越2塁打を放つなど、4回までに10安打と攻め立てた。

先発した加藤は初回到2安打で先制点を許したが、2回以降7回まで18人連続アウトの「完全」で、奪三振12、無四死球。バックも無失策で応えた。

【ベンチ入りメンバーの入れ替え】

9番 藪木 伊織

14番 萩原 大智

20番 吉本凌太郎



写真は同点の3塁打を放った藪木(2年)

4月9日(土) 3回戦 対同志社 あやべ球場

初回に下位打線の連打でビッグイニング

● 同志社 000 1001=2

○ 立命館宇治 502 110x=9x

(7回コールド)

【同】黒井、中川、柳川-上嶋

【立】加藤、吉本-林

▼2塁打 林、津脇 (立) 中川 (同)

【寸評】

立命館宇治は初回先頭の塚本が右前打で出塁、内野ゴロと失策で得た1死2.3塁か

ら、岩間、北川が連続四球を選び先制。続く林は中越えの走者一掃の2塁打を放ち、続く星野、末次の連続中前打などで打者11人で5点を叩き出した。

3回には四球と末次の三遊間安打で得た2死2.3.塁から塚本が中前へ2点タイムリー。4回には星野の三遊間、5回には築山の右前タイムリーで着実に加点した。

今大会初先発の加藤は変化球の精度を欠いたものの、6回被安打5、1死球で、3安打を集中された4回に1点を献上した。

点差がある中で、この回から公式戦初登板となった吉本は先頭に与えた四球の走者をワイルドピッチで返され1点を与えたが、7回コールドで勝利した。

【ベンチ入りメンバーの入れ替え】

9番 稲葉 康誠（内野手/1年/ボーイズ/京都二条）

14番 吉本凌太郎（投手/2年/ボーイズ/滋賀南郷）



写真は先発6回1失点の加藤(2年)

4月29日（日） 2回戦 対大谷 峰山球場

5回、北川陸同点の場外2点弾

● 大 谷 002 200 000=4

○ 立命館宇治 000 131 00x=5x

【大】細川、竹内、坂田-吉岡

【立】杉田聖、加藤-林

▼本塁打 北川陸（立）▼2塁打 津脇、星野、築山、（立）
森田(大)

【寸評】

立命館宇治は序盤、守備のほころびから4点を先行される苦しい展開となった。

3回先頭打者の四球を送られ、続く打者を内野ゴロに打ち取ったが失策。直後に初安打となる2塁打を浴びて、2点を献上。4回にはまたも先頭の四球、犠打を投手が2塁へ暴投(記録は野選)し、送られた2.3塁からの内野ゴロ本塁送球も僅かに高投となり、追加点を許した。

序盤の4点を追いかける展開となったが、4回には1死2塁から星野が左中間を破り1点。

5回には2死から築山が左中間を破り、続く岩間が7球ファウルで粘った後、右前タイムリーを放った。続く北川は2ボールからの甘い球を逃さず、右翼場外へ消える同点2ランで試合を振り出しに戻した。

6回には藪木の内野安打を送り、塚本の三遊間で1死1.3.塁のチャンスを作ると、津脇が絶妙のセフティバントを決めて、勝ち越した。

1回戦に続いて先発した杉田聖は球が高く、自らの暴投でリズムに乗れぬまま、加藤にマウンドを託した。加藤はワイルドピッチで4点目を取られたが、5回2/3で被安打4、無四球で大谷に追加点を許さなかった。



写真は同点2ランを放った北川陸(1年)

4月21日(土) 1回戦 対花園 峰山球場

杉田聖、内野安打1の好投

●	花園	000 00=0
○	立命館宇治	261 8x=17x
		(5回コールド)
	【花】	藤掛、石田-西田
	【立】	杉田聖、加藤-林
	▼3塁打	岩間、星野(立) ▼2塁打 塚本(立)

【寸評】

立命館宇治は初回から花園投手陣を攻め立て、4イニングで先発全員18安打を浴びせ、5回コールドで快勝した。

初回2安打1死球の2死満塁から、ワイルドピッチ、林の三遊間タイムリーで先制。2回には連続四球、塚本のセフティバントで無死満塁から藪木、築山が右前へ連続タイムリー。続く岩間の右中間を破る3塁打など打者一巡の攻撃で6点と序盤から試合を支配した。

3回には岩間のタイムリー、4回には先頭津脇の中前安打を皮切りに、代打星野の右中間最深部の3塁打など13人攻撃で二度目のビッグイニングで攻撃の手を緩めなかった。

先発した杉田聖は4回を投げて3四死球、被安打は内野安打1のみで、5回は加藤にマウンドを譲った。



写真は先発4回被安打1の杉田聖(1年)

大会登録メンバー

背番号	守備	氏名	学年	出身中学	出身チーム
1	投	加藤 颯	2	さだ (大阪)	その他 ニューヤンキース
2	捕	林 憲伸	2	精華西	シニア 奈良西
3	一	末次 裕二郎	1	交野四 (大阪)	シニア 交野
4	二	津脇 大輔	2	登美ヶ丘 (奈良)	シニア 奈良
5	三	築山 隆翔	1	二名 (奈良)	ボーイズ 生駒中央
6	遊	塚本 遵平	1	田辺	ボーイズ 南都
7	左	岩間倫太郎	2	成和	シニア 京都丹後
8	中	北川 陸翔	1	南淡 (兵庫)	中学野球
9	右	藪木 伊織	2	精華西	少年野球 田辺東
10	投	杉田 聖児	1	藤嶺藤沢 (神奈川)	シニア 横浜泉
11	投	篠原 輝成	2	飛鳥 (奈良)	中学野球
12	捕	伊東 航	1	三好 (愛知)	ボーイズ 愛知長久手
13	捕	奥田 壮真	2	寝屋川十 (大阪)	シニア 寝屋川中央
14	内	萩原 大智	1	龍華 (大阪)	ボーイズ 大阪八尾
15	内	廣崎 昂汰	2	豊中十三 (大阪)	シニア 豊中
16	内	星野 大和	2	吉良 (愛知)	シニア 愛知衣浦
17	外	倉知幸太郎	1	坂下 (愛知)	ボーイズ 愛知瀬戸
18	外	市村 祐樹	1	水口 (滋賀)	ボーイズ 湖南
19	外	中川 綾	2	都南 (奈良)	シニア 奈良
20	内	土田 峻佑	1	東宇治	中学野球

4月14日(水) 2回戦 対京都両洋 あやべ球場

立命館宇治 =

立命館宇治 =

【立】

【立】

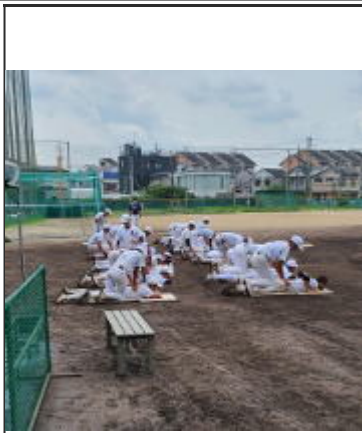
▼塁打

【寸評】

2021年8月度のトピックス

8月23日

メンバー休養日、メンバー外のみで練習



先週は猛烈な秋雨前線に悩まされ、67名の部員全員がグラウンドへ来ても、室内練習場が「密」になることから、秋季大会のメンバー外は二日続けて自宅待機になった。「メンバーに食い込むためにも少しでも練習したい」という思いはあっても、なかなか応えるのは難しい状況で、スタッフも悩ましかった。

今日はメンバーは休養日、メンバー外のみでの練習となった。コロナ状況から長時間練習は出来ないが、4人の顧問が見守る中、普段Aチームがやっているプレーを経験させた。ミスは連発したが、自分の「立ち位置」を謙虚に自覚し、さらなる向上を願う。

8月15日

突然決まった練習試合、練習用ユニで



秋雨前線が活発化し、災害級の大雨に見舞われたが、この日の練習試合は天候の回復が見込めないため、昨日午後には中止を決定。部員は時差で朝から練習の予定だったが、「午後から何とか1試合だけでも」という連絡があり、朝9時半まで降っていたグラウンドを整備し、午後から試合を行った。

一日練習のつもりで、グラウンドへ来た部員は試合用にユニフォームはなく、全員練習着で練習試合に挑んだ。

甲子園球場ほどではないが、このグラウンドも水はけは良い。

8月5日

猛暑とコロナに配慮、体験入部会の実施



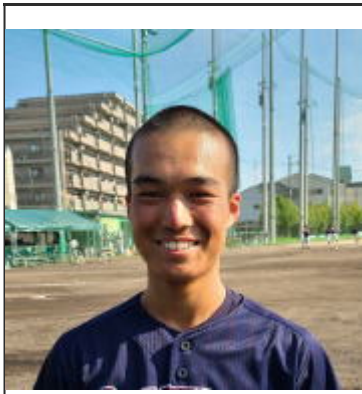
中学3年生を対象に、オープンキャンパスの一環として体験入部会が実施された。今年は附属中学生も含めて、57名の参加があった。

朝から気温は上昇の一途で、中学生には機会ごとに水分の補給を指示し、コロナに配慮して、例年よりも休憩箇所を増やすなど工夫し、3時間の予定で終了した。

その後、希望者には生徒寮の案内、学校見学も行った。目的は実力の見極めではなく、あくまでも野球部の雰囲気を感じ取って貰うことであり、現役部員もそれぞれの役割に応じて臨機応変にサポートした。

8月2日

ようやく決定、新主将に岩間倫太郎



新チームがスタートして主将が不在のまま、10日ほどが過ぎたが、この間の練習や試合状況、また学習に取り組む意欲や人物などを総合的に判断して、スタッフから岩間倫太郎が新主将に指名された。

- 主 将■ 岩間倫太郎(京都丹後シニア) ※写真
- 副主将■ 林 憲伸(奈良西シニア)
- 副主将■ 北村光太郎(東浦シニア)
- 主 務■ 廣崎 昂汰(豊中シニア)

[硬式野球部 TOP PAGE](#)^

2021年7月度のトピックス

第103回全国高等学校野球選手権京都大会 21.7.20更新終了

7月31日

またもコロナの影響、練習試合の組み替え



新チームの練習試合が始まったのも束の間、大阪府の緊急事態宣言、兵庫・京都のまん延防止の影響を受けて、練習試合の大幅な組み替えを余儀なくされている。

この日も福井の高校と組んでいたが、前夜にキャンセルの連絡があった。急遽、この間なかなか実現しなかった関西学生野球の京都大学と1試合行うことになった。現段階では立命館宇治では大きな制限はないが、部員の中で感染者が出れば、活動そのものが停止となる。何度も蜜の回避や消毒の徹底を呼びかけなければならない。

7月28日

2班編成、黄檗練習組と三室戸練習試合組



新チーム1.2年生は68名とかつてない大所帯である。三室戸グラウンドをフルに活用しても、コロナ禍で短時間で全員に効率よく練習を行うのは厳しい。

この日はホーム三室戸グラウンドで練習試合を行いながら、ランニングで10分程度の宇治市民黄檗球場を借りて、練習を同時並行で行った。スタッフもそれぞれに分かれ、里井監督は練習試合を抜けて、黄檗球場を2往復した。

かつてはここがホームグラウンドであったことを知る部員は皆無だが、かつてを知るスタッフからはどこか懐かしい。

7月21日

新主将なしで新チームスタート



敗戦翌朝から新チームがスタートした。例年ならまず新主将・主務の指名から始まるが、このチームは「押しも押されぬ」という存在がない。「野球技量」「経験」だけでなく、「学校生活」「普段の行動」「人格」も含めて考えると、しばらく様子をみてというスタッフの判断である。

朝から全部員でミーティングを行ったが、チームの長所・短所を言っても、「このチームをどうしていきたいか」というプランに積極的なビジョンを語れるものは少なかった。スタッフからは「この夏は学校関係者の応援が少なかった。本当に応援してもらえる、みんなから愛される野球部となっているのか」と問題提起がされた。

7月3日

恒例、保護者会激励会が実施



期末テストも終わり、大会に向けての動きが本格化する中、恒例の保護者会主催の激励会が室内練習場で神保町実施された。

代表して保護者会長から挨拶があった後、激励品として千羽鶴とお守り、記念タオルが全部員に手渡された。西田部長、里井監督からお礼と夏への思いが語られた後、野寺主将は「秋と春は完全に力が発揮できないまま終わり、昨夏の3年生の思いを恩返し出来ずに終わっている。夏こそは悔いのない戦いをしたい」と決意表明がされた。

令和3年度

第103回全国高等学校野球選手権京都大会 速報

4月20日（火） 4回戦 対京都外大西 わかさスタジアム

奮投・司空に援護なし、2塁すら踏めず

○ 京都外大西 100 100 000=2

● 立命館宇治 000 000 000=0

【京】星野烈-花井

【立】司空-林

▼3塁打 吉田(京)

【寸評】 立命館宇治は京都外大西のエース星野烈のテンポ良い投球に完全に封じられ、放った安打は4回2死からの野寺、8回先頭の三浦の2安打のみ。無四死球、無失策で2塁すら踏めずに完敗した。

2回戦の立ち上がりで早々に打ち込まれた司空は、初回にわずか3球で先制点を許したが、9回を投げて8安打、4四死球でビッグイニングを与えず、粘りの投球を続けた。

今大会は直前から波乱含みのスタートとなり、苦戦が続くことが予想されたが、勢いに乗り切れずに大会を去ることになった。



写真は粘りの投球を続けた司空宙大(3年)

4月18日（日） 3回戦 対宮津加悦谷宮津天橋 わかさスタジアム

好機に集中打も完勝とはほど遠く

● 宮加宮天 000 020 101=4

○ 立命館宇治 204 000 30X=9

【宮】秋田、坂根-白数

【立】加藤、西島-林

▼2塁打 三浦、岩間、林(立)

【寸評】 立命館宇治は初回1死から津脇右前打、植村四球の2死1.2塁から、5番三浦が右越えに2塁打を放ち先制、試合を優位に進めた。

3回には津脇の投手強襲安打から盗塁し、植村、三浦、岩間、林の4連打で4点を加点。3点差に迫られた7回には、この試合3安打目の三浦を岩間の右越え2塁打でチャンスを広げ、西島の2点タイムリーなどで、再びリードを広げた。

先発した加藤はブルペンの出来とはほど遠い球筋で、相手打線の打ち損じに助けられた感があり、5回に2失点。リリーフした西島も4回で6安打3四死球2失点(自責点1)の内容であった。

危なげない試合運びの中に、躍動感や一体感に欠け、上出来とは程遠い感があった。



写真は3安打した三浦仁(3年)

4月7日(水) 2回戦 対京都両洋 あやべ球場

西島無失点ロングリリーフ、野寺逆転打

● 京都両洋 401 000 000=5

○ 立命館宇治 002 002 02x=6

【京】酒井-山本

【立】司空、西島-林

▼2塁打 中来田、山本、原野(京)野寺(立)

【寸評】 1点差に迫った8回立命館宇治の攻撃は、1死から塚本の代打・岩間が右前打で出塁すると、1番築山の四球で1.2塁とし、津脇の犠打で2死2.3塁。3番野寺が左翼越えに2塁打を放ち、ついに逆転した。

今大会、投の柱の重責を担うことになった司空は、立ち上がりから腕が振れず、バックの乱れはあったが、2回1/3で長短7安打を浴び、早々に降板。5点を追う苦しい展開となった。

3回には2死満塁から4番植村の中前2点タイムリー、6回には無死2.3塁から築山の右前2点タイムリーで終盤に望みを繋いでいた。

3回1死からという経験のない場面でのロングリリーフとなった西島は、落ち着いた投球で、リリーフ以降、京都両洋打線を無失点に退け、逆転を待った。



写真は6回2/3を無失点ロングリリーフした西島宗汰(3年)

大会登録メンバー

背番号	守備	氏名	学年	出身中学	出身チーム
1	投	西島 宗汰	3	立命館宇治	中学野球
2	捕	林 憲伸	2	精華西	シニア 奈良西
3	一	三浦 仁	3	柳川 (大阪)	シニア 北摂
4	二	藤本 皓成	3	南八下 (大阪)	ボーイズ 松原
5	三	築山 隆翔	1	二名 (奈良)	ボーイズ 生駒中央
6	遊	津脇 大輔	2	登美ヶ丘 (奈良)	シニア 奈良
7	左	植村 博斗	3	松原六 (大阪)	ボーイズ 中百舌鳥
8	中	木村 光太	3	青山 (滋賀)	ボーイズ 滋賀栗東
9	右	野寺 伏	3	精華西	ボーイズ 滋賀南郷
10	投	司空 宙大	3	緑が丘 (和歌山)	ヤング 熊野BBC
11	投	加藤 颯	2	さだ (大阪)	その他 ニューヤンキース
12	捕	生田 慶三郎	3	寝屋川二 (大阪)	シニア 寝屋川
13	内	稲葉 康誠	1	旭丘	ボーイズ 京都二条
14	内	塚本 遵平	1	田辺	ボーイズ 南都
15	内	萩原 大智	1	龍華 (大阪)	ボーイズ 大阪八尾
16	内	廣崎 昂汰	2	豊中十三 (大阪)	シニア 豊中
17	外	岩間倫太郎	2	成和	シニア 京都丹後
18	内外	星野 大和	2	吉良 (愛知)	シニア 愛知衣浦
19	投	杉田 聖児	1	藤嶺藤沢 (神奈川)	シニア 横浜泉
20	投	篠原 輝成	2	飛鳥 (奈良)	中学野球

4月7日(水) 2回戦 対京都両洋 あやべ球場

立命館宇治 =

立命館宇治 =

【立】

【立】

▼塁打

【寸評】

写真は(年)

2021年6月度のトピックス

6月26日

第103回パンフの表紙に2年前の感動シーン



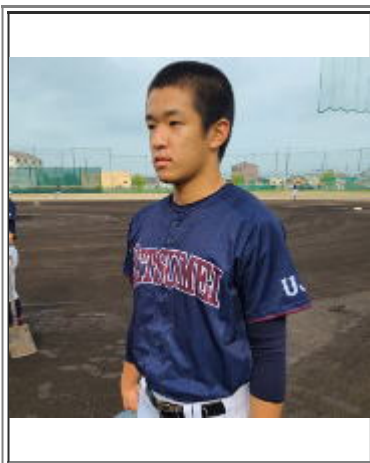
いよいよ第103回大会が迫ってきたが、このたび京都府加盟全校の名前入りパンフレットが完成し、その表紙に第101回大会優勝後のスタンドに挨拶する立命館宇治の感動シーンが掲載された。

このパンフは前年度の優勝決定シーンが掲載されるのが恒例となっており、昨年は代替大会となったため、一昨年のシーンが使われたと思われる。

過去の栄光ではあるが、この満面の笑顔は何度みても良いものである。

6月26日

サードユニフォームが初登場



今春から部員総数が90名を越えるため、なるべく多くの部員に試合機会をとA戦、B戦に加えて、C戦も組まれていた。そこで1.2年部員対象に、セカンドユニフォームに加えて、サードユニフォームも購入してもらい、来たるべく時に備えていたが、本日の練習試合で初お目見えとなった。

この日はテスト直近のため、メンバーの大半を家庭学習日としたが、厳選したメンバーでアウェイのA戦に加え、B戦も行われた。Bチームは明日も連戦となり、洗濯を考えての着用となったが、これからますます出番は増えそうだ。

6月22日

ようやく練習試合再開、まずはナイターで



緊急事態宣言が解除され、まだまだ制限はあるものの、練習試合が本格的に再開された。土日に限らず、夏のメンバーか否かに関わらず、この間紅白戦が中心であった部員に、少しでも「実戦」を経験させたい。

この日は滋賀県の皇子山球場で、国際情報高校に招かれ、ナイター試合を経験できた。

明日より期末テスト1週間となるが、週末には選手権京都大会の抽選会を控えており、引き続きメンバーを厳選して、練習や練習試合を継続する。公立は来月2日まで練習試合は禁止されているが、決して先を進んでいるとは言えない状況である。

2021年5月度のトピックス

2021年度 春季京都府高等学校野球大会 2次戦 速報 21.5.1更新終了

5月7日

西田部長が京都府高野連の理事に



京都府高野連報告総会が行われ、西田透部長が高野連理事に選出されました。本校からは廣瀬浩二元副校長、古家利幸元監督部長、石川順久現顧問に続き、4人目となる。理事となれば、自チームのマネジメントだけでなく、大会運営や連盟行事に関わらなければならない。

他校からは「府南部を牽引してきた立命館宇治から」という声もあったが、現在、西田先生は高校3年学年主任という校内の要職にあり、さらに多忙な日々となる。

※写真は18年4月、朝練を指導する西田先生

5月4日

保護者の楽しみ、多数が紅白戦を観戦



緊急事態宣言下で、当面今月11日までの練習試合は全てキャンセルとなった。その代替りとして、三室戸で連日紅白戦が行われている。この時期の紅白戦は夏に向けての新戦力の発掘と、頑張ってきた3年生の最後のサバイバル。

午前組と午後組に分かれて行われるが、前日にはメンバー発表が行われ、この日は保護者約40名が観戦した。子供のプレーを間近で見ることが出来るのは約1ヶ月ぶり。元々練習試合も練習も公開しているが、前日には保護者LINEで観戦を改めて通知したため、1～3年生の保護者がグラウンドに熱い視線を注いだ。

5月4日

雨天時の通り道をコンクリートブロックで



グラウンドの水はけは抜群に良いが、周辺は水たまりが多く出来、雨天時にはグラウンド門～室内練習場～部室～トイレの移動は水たまりの中を覚悟で踏み込みこまなければならない。部員たちのトレーニングシューズは汚れ、通学時のローファー泥だらけ。スタッフは各自がマイカーに長靴を積み込んでいる。

何とか良い方法はないかと考えた末に、格好良くはないが、コンクリートブロックを並べた。部員たちは何度も歩き心地を確かめながら、ブロックを並べた。その数280個に及んだ。

令和3年度

春季京都府高等学校野球大会 速報

2次戦

4月5日(土) 1回戦 対京都成章 峰山球場
一転、打線沈黙、わずか4安打完封喫す

- 立命館宇治 000 000 000=0
- 京都成章 000 000 01x=1x
【立】白田-林
【京】細見-巖
▼2塁打 巖(京)

【寸評】

試合前半はともに2安打で、三者凡退が淡々と続くゲーム展開となった。

8回の失点は2死走者なしから2安打。白田はバックの攻撃を信じて、根気よく投げたが、最後に痛打を食らった。

打線は4安打、4四死球。芯で捉えたあたりは初回先頭の右前打のみで、見事に封じられた。

何をやっても上手くいき、面白いように得点できた龍谷大平安戦から、わずか一週間。大勝の後に完敗、まさにそれを絵に描いたような展開であった。



背番号	守備	氏名	学年	出身中学	出身チーム
1	投	白田 晴宗	3	四條畷学園 (大阪)	シニア 東大阪
2	捕	林 憲伸	2	精華西	シニア 奈良西
3	一	三浦 仁	3	柳川 (大阪)	シニア 北摂
4	二	藤本 皓成	3	南八下 (大阪)	ボーイズ 松原
5	三	築山 隆翔	1	二名 (奈良)	ボーイズ 生駒中央
6	遊	津脇 大輔	2	登美ヶ丘 (奈良)	シニア 奈良
7	左	岩間倫太郎	2	成和	シニア 京都丹後
8	中	植村 博斗	3	松原六 (大阪)	ボーイズ 中百舌鳥
9	右	野寺 快	3	精華西	ボーイズ 滋賀南郷
10	投	司空 宙大	3	緑が丘 (和歌山)	ヤング 熊野BBC
11	外	北川 陸翔	1	南淡 (兵庫)	中学野球
12	捕	生田慶三郎	3	寝屋川二 (大阪)	シニア 寝屋川
13	捕	伊東 航	1	三好 (愛知)	ボーイズ 愛知長久手
14	内	廣崎 昂汰	2	豊中十三 (大阪)	シニア 豊中
15	内	梶井 恒希	3	枚方三 (大阪)	ヤング 枚方ヤングホークス
16	内投	西島 宗汰	3	立命館宇治	中学野球
17	内	塚本 遵平	1	田辺	ボーイズ 南都
18	外	木村 光太	3	青山 (滋賀)	ボーイズ 滋賀栗東
19	内	萩原 大智	1	龍華 (大阪)	ボーイズ 大阪八尾
20	投	湯浅 祐	3	安祥寺	ボーイズ 京都洛中

1次戦

4月24日(土) 決勝 対龍谷大平安 平安ボールパーク

エース白田満塁弾、1失点完投

○ 立命館宇治 041 010 11=8

● 龍谷大平安 000 100 00=1

(8回コールド)

【立】白田-生田

【龍】石田-松平

▼本塁打 白田、植村(立)、吉田(龍)

▼2塁打 野寺、植村、生田(立)

【寸評】 コロナ禍で2年が臨時休校となり、2年生レギュラー3名を欠く立命館宇治は、替わってベンチ入り先発出場した3年生が躍動し、秋の王者・龍谷大平安にコールドで大勝。歴史的勝利で2次戦進出を決めた。

2回、相手守備の乱れから得た1死満塁の好機に、8番・白田が満塁本塁打で4点を先制すると、3回には三浦のタイムリーで5点を先行する展開になった。4回に本塁打で1点を返されると、5回には4番・植村が左翼へ特大の本塁打を放ち、再び突き放した。7回には公式戦初スタメンの木村が中前へタイムリー、8回にはこの試合からベンチ入りした7番・生田の2塁打を白田がタイムリーで返し、7点差でコールド勝ちした。

長い硬式野球部の歴史において、王者・龍谷大平安にコールドで勝つのは初めてではないが、コロナでレギュラー3名を欠く中での勝利は大きい。今大会初スタメンの木村や生田が、代役以上の働きをした。



写真は投げては1失点、打っては5打点の白田（3年）

新型コロナ臨時休校によるメンバーの入れ替え

立命館宇治では新型コロナの影響により、4月19日（月）20日（火）の2日間を臨時休校としました。しかし21日（水）より授業が再開されましたがその後の状況を鑑み、2年生を25日（日）まで休校という判断をしました。

授業だけではなく、クラブ活動も禁止となり、24日（土）の春季大会は1.3年生のみで試合することになりました。

硬式野球部に陽生者や濃厚接触者はおりませんが、学校の判断を最大限尊重し、6名のメンバーを入れ替えました。

背番号	守備	氏名	学年	出身中学	出身チーム
1	投	白田 晴宗	3	四條畷学園 (大阪)	シニア 東大阪
2		岩岡 秀磨	3	立命館宇治	中学野球
3	一	三浦 仁	3	柳川 (大阪)	シニア 北摂
4	二	藤本 皓成	3	南八下 (大阪)	ボーイズ 松原
5	三	築山 隆翔	1	二名 (奈良)	ボーイズ 生駒中央
6		生田 慶三郎	3	寝屋川二 (大阪)	シニア 寝屋川
7		岸本 健太郎	3	桜井 (奈良)	シニア 橿原磯城
8	中	植村 博斗	3	松原六 (大阪)	ボーイズ 中百舌鳥
9	右	野寺 伏	3	精華西	ボーイズ 滋賀南郷
10	投	司空 宙大	3	緑が丘 (和歌山)	ヤング 熊野BBC
11		北川 隆翔	1	南淡 (兵庫)	中学野球
12		伊藤 優平	3	NY日本人学校 (海外)	その他
13	捕	伊東 航	1	三好 (愛知)	ボーイズ 愛知長久手
14		大河内 瞭介	3	京都教育大付京都	ボーイズ 京都嵐山
15	内	梶井 恒希	3	枚方三 (大阪)	ヤング 枚方ヤングホークス
16	内投	西島 宗汰	3	立命館宇治	中学野球
17	内	塚本 遵平	1	田辺	ボーイズ 南都
18	外	木村 光太	3	青山 (滋賀)	ボーイズ 滋賀栗東
19	内	萩原 大智	1	龍華 (大阪)	ボーイズ 大阪八尾
20	投	湯浅 祐	3	安祥寺	ボーイズ 京都洛中

4月18日（日） 2回戦 対向陽 立命館宇治三室戸G
序盤から猛攻、司空2塁踏ませず0封

- 向陽 000 00=0
- 立命館宇治 411 5x=11x

(5回コールド)

【立】司空-林

【向】中澤、恵濃-提

▼3塁打築山、林、野寺（立）

▼2塁打 岩間、植村（立）

【寸評】 初回、先頭築山、2番・林の連続3塁打で先制した立命館宇治は、岩間の右翼線2塁打、津脇の左前打で計4点を先制。2回には築山、3回には司空のタイムリーで着実に加点すると、4回には野寺、植村の連続長打など、打者10人で5安打を集中し、コールド発進となった。

公式戦初先発の司空は5回を投げて被安打1、2四死を与えたが、向陽打線に2塁を踏ませることはなかった。



写真は公式戦初出場4打数3安打の築山隆翔（1年）

1次戦メンバー

背番号	守備	氏名	学年	出身中学	出身チーム
1	投	加藤 颯	3	さだ (大阪)	その他 ニューヤンキース
2	捕	林 憲伸	3	精華西	シニア 奈良西
3	一	稲葉 康誠	2	旭丘	ボーイズ 京都二条
4	二	萩原 大智	2	龍華 (大阪)	ボーイズ 大阪八尾
5	三	星野 大和	3	吉良 (愛知)	シニア 愛知衣浦
6	遊	塚本 遵平	2	田辺	ボーイズ 南都
7	左	北川 陸翔	2	南淡 (兵庫)	中学野球
8	中	藪木 伊織	3	精華西	少年野球 田辺東
9	右	築山 隆翔	2	二名 (奈良)	ボーイズ 生駒中央
10	投	篠原 輝成	3	飛鳥 (奈良)	中学野球
11	投	杉田 聖児	2	藤嶺学園藤沢 (神奈川)	シニア 横浜泉
12	捕	伊東 航	2	三好 (愛知)	ボーイズ 愛知長久手
13	捕	奥田 壮真	3	寝屋川十 (大阪)	シニア 寝屋川中央
14	内	土田 峻佑	2	東宇治	中学野球
15	内	末次裕二郎	2	交野四 (大阪)	シニア 交野
16	内外	倉知幸太郎	2	坂下 (愛知)	ボーイズ 愛知瀬戸
17	外内	岩間倫太郎	3	成和	シニア 京都丹後
18	投	増田 大悟	3	立命館宇治	中学野球
19	外	中川 綾	3	都南 (奈良)	シニア 奈良西
20	内	池田 光汰	3	男山東	ボーイズ 高槻中央

2021年4月度のトピックス

4月21日

北のりつめい・滝本新監督が本格始動



20代前半のOBはお世話になった滝本圭史先生が、立命館慶祥の監督に正式就任し、地元・北海道で大きく報じられた。昨年夏の代替大会後から実質指揮を執っていたが、恩師でもある横山前監督から正式にバトンタッチされた。

滝本氏は慶祥OBで、宇治が唯一北海道遠征を行った秋武祥仁OB（現守山監督）と同世代。卒業後、北海道教育大で保健体育教師の免許を取り、母校で指導していたが、「京都で卯瀧監督の指導法を学びたい」と3年間限定で宇治へ転勤し、顧問を務めた。

早くも練習量が倍増されるなど、甲子園への本気度がうかがえる。

4月11日

OBが黄檗球場こけら落としで逆転勝ち



かつてホームグラウンドであった宇治黄檗球場が人工芝となり、「三世代ベースボールフェスタ」として、こけら落としの試合が行われた。立命館宇治OBクラブは最終試合で、同じ宇治市の城南OBクラブと対戦し、白熱の攻防を展開。最終回2死から連打で逆転し、チーム2勝目を挙げた。

かつての毎日通った球場の様変わりにメンバーも驚き、「ここで試合する以上、絶対に負けられへん」という意気込み通り、見事な逆転勝ちであった。

4月3日

関西学生春季リーグ、史上初OB3名がスタメン



関西学生野球春季リーグが開幕した。OBたちの活躍が気になるところだが、今シーズンはOB3名が先発メンバーに名を連ねており、他のOBや現役にも大きな励みとなっている。5番ファースト長谷川弘(4回生、高校時代は主将・1番ショート)、7番センター井上光志郎(3回生、同主将・1番センター)、8番キャッチャー藤原彦貴(4回生、同副主将・4番キャッチャー)である。また寺田泰清(4回生)もスタメン要員で控えている。かつて2名がレギュラーになったことはあったが、3名は初。

また準硬式野球部ではの一昨年夏の甲子園時の主将・吉村仁など4名がスターターとこちらも頼もしい活躍ぶりである。

※写真は長谷川弘OB

[硬式野球部 TOP PAGE](#)^

3月19日

第64回大会の甲子園監督が完全退職



宇治高校時代に第64回大会の夏の甲子園に監督としてチームを牽引した古家利幸先生が、今年度で完全に離職することとなった。5年前に定年を迎え、その後も特別契約で勤務していた。

硬式野球部の創世記に監督として硬式野球部の基礎を作り、現500歳野球のメンバーは全員がその時の教え子である。

硬式野球部から離れた後はサッカー部の顧問となり、この時も全国大会に出場。野球とサッカーの両方で全国大会を経験した経歴を持つが、やはり古家先生といえば「野球部」であり、OBにとっては寂しい限りである。

3月17日

コロナ渦の活動2 サーマルカメラを設置



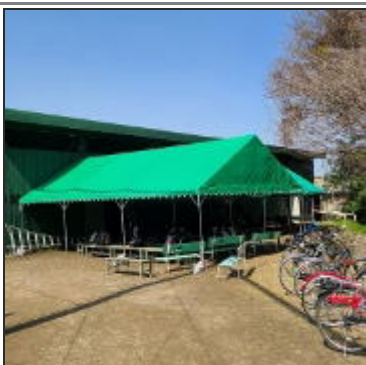
クラブ活動については全クラブ、全部員に毎日、健康観察表の提出が義務づけられているが、練習が始まればスタッフがチェックし、体温記録などを見て押印し、返却している。

これもまた、今月末からは90名を超えることになり、チェックだけでも大変な作業となる。

今回、スタッフルーム前に、サーマルカメラを設置した。部員はグラウンドに来れば必ずスタッフルームに挨拶に来る。その時にカメラに向かって検温するという流れとなる。高温と判定されれば、さらに通常の体温計で再測定という流れとなる。勿論、必要であれば来客にも検温を求める。

3月16日

コロナ渦の活動1 蜜を避ける工夫



学年末テストも終わり、練習試合も始まったが、まだ安心とはほど遠いのがコロナ対策。練習試合も全て人数制限し、AB編成で、バス移動の人数も減らしている。

今回、保護者会から、積年の繰越金で何とか現場の役にものごとを提案いただき、テントをお願いした。部室は現在52名が使用しており、今月末からはさらに40名が増える。更衣や食事は全員揃ってはできない。今回は数年前から室内練習場横にあった同サイズのテントをもうひとつ、そして3塁ベンチ裏にひとつ、そしてベンチ内の蜜をさけるために、ベン

2021年3月度のトピックス

3月29日

コロナ渦の活動3 ベンチ内の蜜を緩和する



緊急事態宣言が解除となっても、やはり練習試合は例年通りとはいかない。練習では最大限の配慮をしつつも、試合になるとどうしても気になるのがベンチ内の「蜜」。選抜高校野球ではベンチ内の監督や控え選手にマスクの着用を義務づけているが、三室戸グラウンドのベンチは狭い。

そこで今回はグラウンドにせり出すことを覚悟で、ベンチ前に特設テントを設置した。既存のベンチを生かし、形状・色合いなど全て特注品で、保護者会の協力を得て実現にこぎ着けた。勿論、1、3塁側ともに仮設であり、使い方次第では雨天時にウエイトトレや簡単なミーティングを行える。

3月20日

500歳野球をかつての恩師が激励に



500歳野球の初の公式戦に当時の古家監督が観戦。教え子たちのプレーを温かいまなざしで見守った。「あいつ、誰や」と問われ、名前を答えると「はいな。あの子のお父さん、〇〇の仕事されていたけど、元気かなあ」とか、やはりそれぞれの教え子には様々な思い出があるようであった。

試合後には円陣で挨拶し、「結果は大敗だったが、勝敗よりも怪我なく終えられたことが大切。これからもまた応援に来たい」という言葉を頂いた。

3月20日

500歳野球、初陣は完敗デビュー



約1年をかけて準備してきた500歳野球「立命館宇治OBクラブ」がこの日初めての公式戦に挑んだ。3年前の優勝チーム・京都一中洛北クラブと対戦し、立ち上がりは何とかゲームメイクしたが、この間上達の機運を示していた守りが大きく乱れ、10失策12失点で5回コールド大敗となった。

多くのチームが、結成2,3年は大敗ばかりだったと聞くが、立命館宇治OBクラブもここからスタートである。

次は人工芝に改装された宇治黄檗球場で、城南OBクラブとこけら落としの試合を行う。

手前に置ける特注テントをお願いした。あくまでも仮設であるが、少しは蜜は回避できる。

3月6日

卒業式で硬式野球部員が代表で熱唱



昨年に続き、今年も卒業式は3年生のみで大ホールで実施された。硬式野球部は第101回大会の甲子園出場で、特別表彰・優秀スポーツ賞(団体)を昨年に続き、受賞した。

また式典の終わりには卒業生出発(たびだち)の歌として、『旅立ちの日に』が卒業生によるピアノ・バイオリン演奏で3名が登壇し、素晴らしい歌声を披露した。この中の1名が硬式野球部員の笠浪悠生であった。

昨年の答辞では柳原OBが登壇したが、2年続けて関係者にとっては心に刻まれるシーンとなった。

3月5日

卒業を控えた3年26名に記念品



卒業式前日のこの日、あいにくの雨空となったが、午後2時半から室内練習場に全部員が集合し、例年通りの卒部式が行われた。コロナ渦で、かつてない夏を経験した学年だが、第101回大会の37年ぶりの甲子園出場と1勝は、この学年の躍進なしには語れない。

岡田主将から現役部員に挨拶があり、その中で「里井監督が自らグラブをはめて、守備を教えて下さったこと、本当に嬉しかったです。これからはこのグラブを使って後輩に指導して下さい」と『岡田世代』と刺繍されたグラブが贈られた。

硬式野球部 TOP PAGE^

2021年2月度のトピックス

2月28日

中盤以降互角の展開で、春季大会に光り



500歳野球・立命館宇治クラブが、現加盟チームで最強と言われる東山東友クラブと練習試合を行った。序盤に大量失点したものの、3回以降は相手打線を0封し、互角の展開で、来たるべき春季大会に光が差す結果となった。

相手投手は74歳のサウスポーだったが、結成以来対戦した投手ではスピード、キレともに文句なくNo.1。守備も堅く、500歳野球あの奥深さを改めて認識した。

いよいよ3月20日、太陽が丘球場で、初の公式戦に挑む。

2月13日

史上最多の40名か、入部説明会



高校入試合格発表がインターネットで行われたが、毎年同日に行われている入部説明会は、蜜を回避して、大ホールで行われた。

西田部長が1年間かけてリクルートしてきたメンバーが勢揃いした。一昨年夏の甲子園効果もあり、今年度は付属中学も含めると現段階で39名の入部予定者となっている。

コロナ渦での実施となり、保護者の付き添いは1名限定、参加者には健康観察シートの提出を義務づけて行われた。

最後にチームグッズを採寸し、スタッフが開いたLINEグループに参加して、解散となった。

2月12日

早くも実践モード、春に向けてのアピール



高校入試と祝日、週末を挟んで部員は実質5連休となった。まだまだ寒暖差は激しいが、この週末は天候と気温に恵まれた。

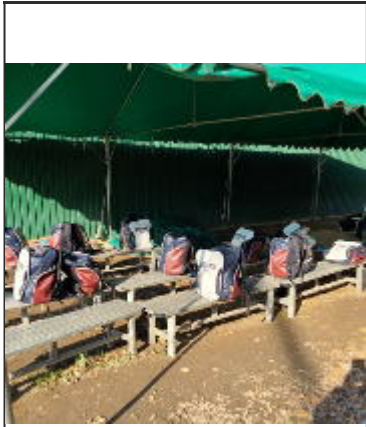
部員52名を半分数に分け、午前組と午後組でグラウンドへ集合させ、紅白戦が実施された。この冬はコロナの影響で活動休止の期間もあったが、春のシーズン到来は近い。スタッフが見守る中、部員たちはこれまで研鑽してきたプレーで懸命のアピール。

春には大量の新入部員を迎え、総勢90名を越える

ことが予想され、今までのAチーム、Bチームの編成から、Cチームも予定されている。

2月6日

「密」を避ける、硬式野球部活動マニュアル



1月末にコロナの影響で、全体練習の休止を余儀なくされた。再開にあたっては、立命館宇治の全クラブ活動がその競技・活動に即した「活動マニュアル」を作成し、学校へ提出することとなった。硬式野球部でも西田部長が練習メニューに応じたマニュアルを作成した。

このマニュアルは練習そのものだけでなく、その前後の更衣や食事の場面にも及んでいる。これまでは52名全員がひとつの部室で更衣し、食事も「密」になりがちであったが、室内練習場やその横のテント利用し、ランチを挟まない短時間集中メニューで行われている。

2月5日

シーズン到来に向けて、グラウンド整地準備



いよいよ来月から練習試合が始まる。人数が多く、スタッフも増えたことから、ホームとアウェイに分かれてのA戦、B戦と組まれているが、現在の52名に加え、新入部員は40名に迫ると予想されており、その時に備えてC戦の日もある。

ホームは部員の日々のグラウンド整備にも関わらず、ひずみやうねりもある。今回、最高の状態でプレーできるようにと、甲子園球場を担当する阪神園芸から黒土を購入。9日と10日の2日間でグラウンド再整備する予定である。

硬式野球部 TOP PAGE^

2021年1月度のトピックス

1月17日

緊急事態宣言下、短時間で集中練習



球春が待ち遠しい季節となったが、緊急事態宣言のため、授業は短縮授業となった。放課後のクラブ活動も時間制限がかかり、より効率の良い練習が求められている。

この週末は中学入試のため、朝からグラウンドには元気なかけ声が響いたが、制限なくいつまでも練習ができる状況ではない。メニュー間も迅速に、昼食休憩も短めである。50名強の部員たちはグループに分かれて、効率よく動く。

勿論、居残り練習は禁止で、練習が終われば一目散に帰宅となる。

1月4日

例年より早く、通学生練習を再開



年が明け、例年より早い4日、通学生による練習が再開した。朝は8時スタートがこの間の流れであるが、実家より通う寮生に配慮して、1時間お誘い9時スタート。

三重、愛知組や京都府北部組の数人を除いて、ほぼ全部員が集まり、年末からのメニューを軽快にこなした。

この間、練習の雰囲気は良く、威勢の良い声がグラウンドに響き渡り、苦しい練習も笑顔で声を掛け合う姿が目立つ。

まだ先だが、「春」が待ち遠しい。